

発行：岸和田市議会 編集：「議会だより」編集委員会 TEL 423-9668
(市議会ウェブサイト <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/>)

市議会議員を紹介します

4月21日の市議会議員選挙により、新しい議員が決まりました。
議員は市議会を構成し、議決機関として条例や予算の決定など、市政の方向を決める役割を持っており、執行機関の長である市長と車の両輪となり、お互いに市政発展のため活動します。今後4年間、よろしくお願いします。



①所属会派
②所属政党
③期数

議席番号 氏名



6番 宇野 真悟

①大阪維新の会
②大阪維新の会
③2期目



5番 反浦 旭

①きしわだ未来
②自由民主党
③2期目



4番 殿本 マリ子

①誠和クラブ
②無所属
③1期目



3番 堂本 啓祐

①大阪維新の会
②大阪維新の会
③1期目



2番 田中 市子

①日本共産党
②日本共産党
③1期目



1番 倉田 賢一郎

①大阪維新の会
②大阪維新の会
③1期目



12番 桑原 佳一

①公明党
②公明党
③3期目



11番 西田 武史

①次世代政策会議
②無所属
③3期目



10番 友永 修

①公明党
②公明党
③3期目



9番 井舎 英生

①次世代政策会議
②無所属
③2期目



8番 南 加代子

①公明党
②公明党
③2期目



7番 烏野 隆生

①きしわだ未来
②無所属
③2期目



18番 岡林 憲二

①誠和クラブ
②自由民主党
③5期目



17番 松本 妙子

①公明党
②公明党
③4期目



16番 京西 且哲

①次世代政策会議
②無所属
③4期目



15番 米田 貴志

①公明党
②公明党
③4期目



14番 河合 馨

①次世代政策会議
②無所属
③3期目



13番 岩崎 雅秋

①公明党
②公明党
③3期目



24番 今口 千代子

①日本共産党
②日本共産党
③10期目



23番 岸田 厚

①日本共産党
②日本共産党
③8期目



22番 中井 良介

①日本共産党
②日本共産党
③7期目



21番 稲田 悦治

①次世代政策会議
②無所属
③7期目



20番 鳥居 宏次

①誠和クラブ
②無所属
③6期目



19番 雪本 清浩

①次世代政策会議
②無所属
③5期目

米田議長、烏野副議長が就任

第2回臨時会(5月16日・17日)では、議長・副議長の選挙や、各委員会の委員選任などを行いました。
第2回定例会(6月17日～26日)では、庁舎建設特別委員会を設置し、また、17件の議案を審議しました。

賛否が分かれた議案

公…公明党 次…次世代政策会議
共…日本共産党 維…大阪維新の会
誠…誠和クラブ 未…きしわだ未来 ○…賛成 ×…反対 (議長は表決しません)

件名・内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	結果
	議員名	倉田中	堂本	殿本	反甫	宇野	烏野	南	井舎	友永	西田	桑原	岩崎	河合	米田	京西	松本	岡林	雪本	鳥居	稲田	中井	岸田	今口		
	会派名	維共	維共	誠未	誠未	維未	維未	公次																		
市議案第4号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決	
主旨 岸和田市議会の議員の報酬などを、令和元年7月1日から4年3月31日まで20%減額するものです。	【賛成討論】 ・行財政再建プランに基づき、職員が一丸となって自らの給与を削減し、行財政再建に取り組んでいる。財政基盤の再構築のため、市議会議員がプランの早期完遂に向けて率先して報酬削減に取り組むことは当然の責務である。																									

京西 且哲
(次世代政策会議)

二十数年前から、収支不足に対応する行財政改革を実行してきた。持続可能な行政運営に向け、人事管理も構造改革が必要である。長く勤務することで給料が上がるのではなく、職務給の原則を徹底した給与制度にし、併せて、仕事へのモチベーション向上のため、昇任・昇格試験制度を導入すべきである。学校教育法施行規則の改正に伴い、来年度より中学校に部活動指導員を学校職員として配置し、生徒にとって望ましいスポーツ環境をつくることとして望ましい。制度策定の検討会議に、学校関係者だけでなく、プロの指導者が多数登録する、公益財団法人日本スポーツ協会の関係者の参加を求めるべきである。

南 加代子
(公明党)

自転車の利活用を進めるには、道路利用者の順法意識やマナー向上は不可欠だが、事故対策として走行環境の整備と全世代にわたる安全教育の充実に努めるとともに、府自転車条例の自転車保険加入義務化の規定に基づき、加入促進にも注力すべきである。また、地域施策の要として自転車の利活用を促進するため、総合調整を行う部局の設置を要望する。

田治米畑町線は、市の緊急交通路であるものの、結節区間の一部が未整備のため、避難路としての役割を果たせていない。防災の考え方が「防ぐ」から「避難する」に変わってきていることもあり、当該地域住民の命にも関わる整備事業は、早期に着工すべきである。

自転車の利活用・田治米畑町線整備について

その他の質問 ○情報発信の充実と活用

市政に関する 一般質問

令和元年第2回定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。(発言順に掲載)

一般質問の様子は、市議会ウェブサイトの録画中継のページでご覧いただけます。
URL: <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/177rokuga.html>

また、8月下旬以降、市立図書館や広報広聴課の情報公開コーナー、市議会ウェブサイトの「会議録の閲覧」のページでも詳細をご覧ください。

西田 武史
(次世代政策会議)

岸和田城を活用した観光について

岸和田城は、府内に二つしかない天守閣を有する城の一つである。この貴重な観光資源を活用し、国内外を問わず観光客を誘致する施策として、次のとおり提案する。①櫓の有効活用②バリアフリー化(エレベーターや介助リフトの設置)③城に宿泊できる城泊の実施④城泊にだんじり祭りや花火大会などの見学ツアーを組み合わせ、ふるさと納税の返礼品として提供⑤天守閣からのジップラインの実施⑥城内への入場者数の正確な把握と入場料の収入増のため、天守閣から門への受付の変更⑦石垣の樹木の剪定などの改善。これらの取り組みにより、岸和田城を魅力あるものにし、本市の活性化につなげてほしい。

宇野 真悟
(大阪維新の会)

登下校中の児童の安全確保について

【問】先日、神奈川県川崎市において、登校中の児童と保護者が襲われるという大変痛ましい事件が発生した。本市では、普段から学校と地域が協力し、登下校中の児童・生徒の安全確保に努めているというところだが、今回の事件を受けて、本市ではどのような対応を行ったのか聞きたい。

【答】本事件を受け、保護者や地域住民、ボランティアとの連携をさらに強化し、見守り活動の協力を依頼するなど、安全管理の徹底について、改めて各学校園に通知した。また、不審者事案などが発生した場合は、青色防犯パトロール車が当該地域を重点的に巡回するなど、安全確保に向けた取り組みを進めている。

反甫 旭
(きしわだ未来)

校区とコミュニティの関係について

その他の質問 ○広域行政 ○市政の情報発信

昭和58年に太田小学校が新設されて以来、30年以上の間、現在の24小学校区となっている。ただ、各小学校の現状を比較すると、児童数に差があり、チッコホームのような校区単位で行う施策の課題は、学校ごとにさまざまである。少子高齢社会の現状では、校区の見直しは避けられない問題だと考える。本市では、すでに小学校区を中心に地域コミュニティが形成されており、例えば、地区市民協議会や地区公民館などの施設は、おおむね校区ごとに設置されている。現在、学校園の適正規模・適正配置の検討は教育委員会で行っているが、このことを踏まえ、市長部局や地域住民を含めた横断的な議論と検討を要望する。

市政に関する一般質問



鳥居 宏次
(誠和クラブ)

【問】 昨年の台風21号では、多数の建物被害や市内全域での大規模停電が発生し、市民生活に多大な影響があった。施政方針では、強い地域の防災力と高度な災害対応体制で、日本一災害に強いまち岸和田を目指す、とある。停電対策、災害ごみ対策、指定避難所の情報の周知など、具体的な対策を聞きたい。

【答】 停電対策は、発電機とライトの整備を順次行う。災害ごみは、大手及び市内廃棄物処理事業者と災害廃棄物処分・運搬にかかる協定を締結した。指定避難所の情報は、市ウェブサイトや、緊急時はエリアメールなどで周知する。



クリーンセンター敷地に積まれたがれき



松本 妙子
(公明党)

久米田駅西側アクセスの整備については、北一番踏切の安全性の確保が喫緊の課題であり、それに伴う府道春木大町線の渋滞を解消するためにも、西側改札を早期に開設し、新たな久米田駅西停車場線及び西側駅前広場を整備すべきである。また、踏切の幅の狭い歩道も府と協議して改善し、併せて東側駅前広場の整備範囲を、もう少し拡大すべきと考える。岸和田の教育について、来年度から小学校の英語教育が教科化されるが、英語専科の教員の加配やネイティブスピーカーのALT(外国語指導助手)の増員を検討すべきである。また、人権教育をより充実させるため、特別支援教育支援員の増員を要望する。

日本一災害に強いまちづくりについて

その他の質問 ○廃ラステックのリサイクル ○パブリックコメント制度の問題点



中井 良介
(日本共産党)

子どもの就学による保護者負担は大きい。学校教育法は、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対する必要な援助を市町村に義務付けており、給食費や修学旅行費、制服代などを援助する就学奨励制度は、教育の機会均等を保障する市の重要な制度である。ところが、本市の教育委員会は「国の生活保護基準引き下げ」と「市の財政再建」を理由に、就学奨励の認定基準を引き下げ、平成30年度の申請者に当てはめると今年は12人、来年は50人の子どもが援助を受けられなくなる。これまでの改善策を廃止するものであり、低所得世帯の保護者と子どもにも負担を強いて、教育の機会均等を損なうことはやめるよう強く求める。

就学奨励制度の引き下げをやめよ

久米田駅整備と周辺のまちづくり



鳥野 隆生
(きしわだ未来)

【問】 10月から幼児教育・保育の無償化が始まることに伴い、幼稚園や保育所などの3歳児からの利用希望者が増加すると考えられる。増加予測とその受け皿について、市の考えを聞きたい。

【答】 3歳児においては、保育所や幼稚園などの施設への所属率が低いことなどから、利用希望者が増加すると見込んでいる。今後も定員拡大策を講じ、市民ニーズに配慮されるよう努める。また、0歳から5歳までの就学前の幼児教育・保育を一体的に行う、認定こども園についても十分検討していきたい。



桑原 佳一
(公明党)

① ローズバス改正後、利用者が前年比5割も減少した。利便性向上のため、次のとおり要望する。
・市役所から岸和田駅や路線バス、北ループ始発へのアクセスをより向上させるため、北ループを岸和田駅終着前に市役所経由とする。
・北ループから下松駅やハローワーク、南ループから保健センターや岸和田駅へのアクセスを向上させるため、市民病院でも両ループ間の乗り継ぎを実施。
② 磯上町5・6丁目付近から松風町付近を経由して春木駅へ、また松風町付近から磯上町6・5丁目付近を経由してローズバス府営吉井住宅前停留所へ、170円で利用できる新しい公共交通の整備を、早期に実現すること。

幼児教育・保育の無償化について

その他の質問 ○通学路の安全

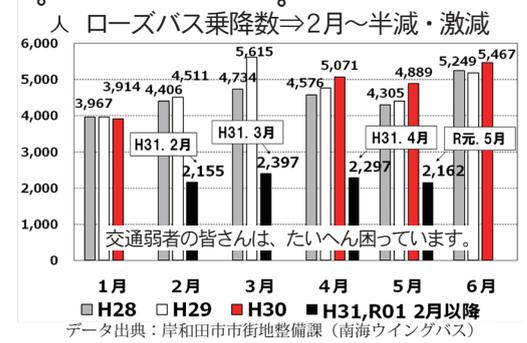


井舎 英生
(次世代政策会議)

① 2月からローズバスの運行が変更されて乗客数が半減した。交通弱者を無視した交通政策の失敗であり、私の調査では、元の運行へ戻す要望が95%と圧倒的に多い。市は元に戻す勇気を出し、教室にも、エアコンの完備を。
③ 北部の空気汚染は健康被害が怖い。市長の行動に期待する。

ローズバス・学校教育・空気汚染の課題について

ローズバスの早期改善と新公共交通の早期整備



殿本 マリ子
(誠和クラブ)

全国的に少子高齢化が進んでおり、本市山手地域においても高齢者が増え、さまざまな問題が生じている。特に移動の際には、車がなければどこへも行けない状態となっている。一方、最近では高齢者の運転による交通事故が多く、家族の心配もあり、運転免許証を返納する人が増えている。また、本地域には、愛彩ランドや蜻蛉池公園があるが、そこへ行くにも近くて遠い場所になっている。そして、大阪方面へ出掛ける際は、JR阪和線や南海本線の駅よりも、和泉中央駅へ向かう方が時間短縮となる。そこで、各所に出掛けられ、便利に過ごせる手段として、山手地域でのコミュニティバスの運行を要望する。

コミュニティバスの運行について

その他の質問 ○街路灯の設置



岩崎 雅秋
(公明党)

東岸和田駅の上下線ともに高架開通し、道路を含めた周辺整備が最終段階を迎えている。かねてからの懸案事項である特急「はるか」の停車については、市長を先頭に、諦めることなく粘り強い交渉で、実現するよう要望する。また、駅周辺整備については、市民のニーズに応えるよう要望する。
防災・減災については、昨年の台風21号は本市にも甚大な被害をもたらした。今年度には本市の防災体制の見直しを行うとのことだが、数十年に一度の災害が頻発しているなか、「逃げ遅れゼロ」に向けて知恵を絞り、命を守る手を打つことを強く要望する。

東岸和田駅と周辺整備、防災・減災



田中 市子
(日本共産党)

① 地域生活支援拠点などについて、2020年度までに整備するとしているが、地域の実情に配慮し、障害児・者や家族が安心できる体制の整備を求める。
② 相談支援について、行財政再建プランにある、障害者相談支援事業の委託料の縮減や基幹相談支援センターの民間委託化は、相談支援体制を後退させる本事業は重要であり、さらなる拡充を要望する。
③ 障害福祉サービスについて、支給量や事業所が不足し、困っている利用者が多い。個々の実情や必要性などを検討し、柔軟な対応を求める。また、事業所と行政を含めた関係機関が連携することで、スムーズなサービスを提供できるように要望する。

障害児・者が地域で安心して暮らせるために

市政に関する 一般質問



今口 千代子
(日本共産党)

【問】聴覚障害のある人が聞こえを改善するために装用するものとしては、補聴器が広く知られているが、重度の聴覚障害児・者では、補聴器ではなく人工内耳を選択する人がいる。人工内耳は、耳の奥の体内に埋め込む部分と、マイクで拾った音を埋め込んだ部分に送る体外部分からなる。マイクなどを維持する費用が高いため、助成すべきと考えるがどうか。

【答】人工内耳については、補装具費の支給対象とするよう、これまで大阪府市長会を通じて国に要望してきたが、今後も継続していく。また、電池代の助成は、既に実施している自治体の取り組みや本市での助成のあり方について研究を重ねていく。



堂本 啓祐
(大阪維新の会)

【問】現在のクラス編制基準は、小学校1年生及び2年生が35人以下、3年生以上は40人以下となっているが、特別支援学級の在籍児童は通常学級の編制人数に含まれないので、実際は40人を超える学級が存在することになる。そのような場合、教員にかかる負担は大きくなるため、3年生以上においても、1年生及び2年生と同様の少人数による学級編制にすべきと考える。

【答】目指すところは、3年生以上においても35人以下学級の実現ではあるが、本市の財政状況や学力向上に係る経費などのこともあり、これらを総合的に勘案し、現時点で実現可能な38人以下学級の早期実施を強く望む。



岸田 厚
(日本共産党)

【問】公共交通の整備と通学路の安全対策について

①公共交通の一つであるロースバスの運行ルートが2月に見直された。バス停がなくなったり、5分で行けたところが1時間かかったりするなど市民の声がある。市役所、市民病院前のバス停を、南北両ルートとも設置し、逆回りのルートも設定されたい。

②交通弱者に、タクシー券配布などの支援策を。

③常盤小学校の通学路である下松門前線は、特に道路幅員が狭く車の通行量が多い。安全対策として、運転手への啓発看板を早期に設置すること。

また、光明、常盤小学校、桜台中学校の通学路である春木岸和田線は、歩道設置が困難である。車の通行台数を減らすため、田治米畑町線と同時に大宮常盤線も整備されたい。

公共交通の整備と通学路の安全対策について



雪本 清浩
(次世代政策会議)

【問】避難所の安全性の再点検と電力確保について

昨年9月に襲来した台風21号は、市内の多くの建築物を損壊したほか、市の多くの施設にも被害を与えた。その中には災害時の避難所として指定されている施設も複数あった。幸いなことに、避難した人に負傷者は出なかったが、場合によっては大惨事になるところであった。また、台風接近時に避難所を見て回ったが、春木市民センターは停電しており、非常に蒸し暑い状況だった。

今年もこれから豪雨や暴風雨による災害が発生しやすい時季を迎えるため、避難所の安全性の再点検と、昨年成立した国の補助事業制度(市負担25%)の活用による停電への対応を要望する。



倉田 賢一郎
(大阪維新の会)

【問】本市独自の児童相談所を設置することは、より手厚い児童虐待対策を実現するために有効と考える。本市独自に設置する場合には、どのような課題があるのか聞きたい。また、その課題が解消される状況であれば、児童相談所の設置についてどのように考えているのか聞きたい。

【答】一定のスキルを持った職員が必要であり、人材の確保や育成、また人件費や施設整備費などに充てる財源確保が課題である。経常経費として毎年約2億円の市の負担を見込んでいる。そのようなクリアすべき課題はあるが、岸和田の子どもたちや家庭を守るといふ理念を実現するために有効と考える。



友永 修
(公明党)

【問】岸和田市の児童虐待をなくすために

通学路での車両事故が相次いでおり、全国で安全対策の強化、総点検などを要望する声が高まっている。通学路の危険な状況を把握しているのは学校であり、市は学校からの整備要望を放置することなく、また、地域が納得するような対応を進めてほしい。通学路に設置されているグリーンベルトについて、学校から半径500メートル以内という設置基準があるが、それを超える地域にも住宅街があり、多くの子どもたちが通学している。例えば、葛城町には地域外からの通過車両の多い危険な通学路がある。グリーンベルトの設置基準を見直し、通学路の安全対策を早急に進めるべきである。

通学路など道路の安全対策について

議会の役職一覧

役職名	氏名	役職名	氏名
議長	米田 貴志	◎委員長	◎京西 且哲 ○倉田賢一郎
副議長	烏野 隆生	○副委員長	○倉田賢一郎
総務 常任委員	◎雪本 清浩 ○反甫 旭 倉田賢一郎 友永 修 河合 馨 鳥居 宏次 中井 良介	庁舎建設 特別委員	反甫 旭 南 加代子 岩崎 雅秋 雪本 清浩 鳥居 宏次 岸田 厚
	◎今口千代子 ○堂本 啓祐 田中 市子 井舎 英生 西田 武史 桑原 佳一 松本 妙子 岡林 憲二	議 会 会 運 営 委 員	◎河合 馨 ○中井 良介 堂本 啓祐 反甫 旭 友永 修 鳥居 宏次
文教民生 常任委員	◎南 加代子 ○殿本マリ子 宇野 真悟 鳥野 隆生 岩崎 雅秋 京西 且哲 稲田 悦治 岸田 厚	都市競艇 企業団 議会議員	稲田 悦治
事 業 常任委員		岸貝清掃 施設組合 議会議員	田中 市子 反甫 旭 宇野 真悟 南 加代子 井舎 英生 河合 馨 松本 妙子 鳥居 宏次

政策討論会を開催します

- 第一分科会…企業誘致
- 第二分科会…交通弱者への対応
- 第三分科会…農漁業の産業化

開催日	時間	分科会
8月13日 (火)	午前10時	第一分科会
	午後1時	第二分科会
	午後3時	第三分科会
9月20日 (金)	午前10時	第二分科会
	午後1時	第三分科会
	午後3時	第一分科会
10月21日 (月)	午前10時	第三分科会
	午後1時	第一分科会
	午後3時	第二分科会

※傍聴される方は、市役所新館3階 議会受付へお越しください。

9月定例会の日程(予定)

- 8月22日(木) 本会議
- 23日(金) 本会議
- 27日(火) 文教民生常任委員会
- 28日(水) 事業常任委員会
- 29日(木) 総務常任委員会
- 30日(金) 庁舎建設特別委員会
- 9月2日(月) 本会議・決算特別委員会
- 4日(水) 決算特別委員会
- ~9日(月)
- 11日(水) 本会議

※9月2日・5日の決算特別委員会は午後1時開会予定です。それ以外は午前10時開会予定です。

※傍聴される方は、当日、3階議会受付までお越しください。

○9月定例会における一般質問をテレビ岸和田、ラヂオきしわだで放送します。詳細は、各放送局のウェブサイトをご確認ください。また、決算特別委員会を市議会ウェブサイトで生中継します。